

第17回学術研究発表会プログラム

時刻	座長	発表題目	筆頭発表者	所属	備考	キーワード				
						1	2	3	4	5
9:30		森林利用学会会長挨拶								
9:40	鈴木秀典	1 収支分析を用いた路網配置手法の検討	伊藤要	宇都宮大	学生	Dijkstra法	収支分析	適正化	路網密度	
10:00		2 高解像度DTMを用いた作業道配置支援手法の検討	斎藤仁志	宇都宮大	学生	路網配置	LiDAR	作業道	集材線	
10:20		3 遺伝的アルゴリズムを用いた林道の三次元線形最適化モデル	白澤紘明	京都大院	学生	三次元線形	最適化	遺伝的アルゴリズム		
10:40	鈴木保志	4 経験的知識から得られる作業道開設地として不適な地形条件の高密作業道網開設のための堆積地形抽出手法の開発	猪俣雄太	農工大	学生	作業道	GIS	ラフ集合理論	開設不適地	
11:00		5 数値地図を用いた作業道土工量の算出 - 断面積を求める斜面傾斜の誤差 -	小田原匠	農工大	学生	作業道	崖錐	崩落堆	抽出精度の向上	
11:20		6 PS灰を原料とした造粒固化体を路盤材とした作業道の経時変化	鈴木秀典	森林総研		数値地図	作業道	土工量	斜面傾斜	横断面
11:40		7	與儀兼三	広島総研林技		PS灰	路盤材	作業道	路面支持力	トラフィックカビリ
昼休み										
13:00	松本武	8 枝条による路面侵食防止対策の効果	白田寿生	岐阜県森林研		作業路	路面侵食	枝条	土砂移動量	
13:20		9 列状間伐作業における土砂移動量	杉本純佑	高知大	学生	列状間伐	土砂移動量	下層植生	スギ人工林	経過年数
13:40		10 コレクター集材による間伐作業の生産性・経済性と残存木損傷	鈴木保志	高知大		架線集材	間伐	コレクター集材	生産性・経済性	残存木損傷
14:00	岩岡正博	11 新世代タワーヤーダの機能と適用条件	仁多見俊夫	東大院		タワーヤーダ	車両系機械	素材生産	林業機械	新世代
14:20		12 自律型枝打ちロボットの研究	田中彬央	岐阜大	学生	枝打ちロボット	姿勢・位置調整機			
14:40		13 クローラカート集材システムの開発	佐々木尚三	森林総研北海		クローラカート	けん引抵抗	集材作業	グラップルローダ	
休憩										
15:20	長谷川尚史	14 那須野ヶ原地域における間伐材搬出作業の機械化による生産性・コスト改善の可能性 - 従来型作業と機械化作業の比較分析	仲畑力	宇都宮大	学生	間伐材搬出	経済収支	機械化	団地化	
15:40		15 栃木県那須塩原市における森林バイオマスの収集と人工林適地	村上文美	宇都宮大	学生	森林バイオマス	収集システム	収益性	GIS	人工林適地
16:00		16 タケ資源の帯状伐採による集材方法別コスト比較	谷山 徹	愛媛県林研セ		タケ集材	帯状伐採	伐採方法	生産性とコスト	
16:20		17 林業事業体の労働安全衛生活動と労働災害	山田容三	名古屋大院		林業事業体	死傷年千人率	度数率	強度率	労働安全衛生活動